



○文化庁委託事業 平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業
「障害者による優れた文化芸術を国内外に発信する総合推進事業」

○社会福祉法人愛成会「海外のアール・ブリュット展国内周知事業」

2020障害者国際芸術祭プレ企画 国際研究フォーラム

ナントからナカノへ —文化芸術が創るまちの未来—

青柳正規

前文化庁長官、山梨県立美術館館長、
アール・ブリュットネットワーク会長

ジャン・マルク・エロー

フランス元首相、ナント市名誉市長、
2017ジャパン×ナントプロジェクトスーパーバイザー

コーディネーター

野澤和弘

毎日新聞社 論説委員

日 2018年10月10日(水)

時 14:00(開演) 13:30(開場)

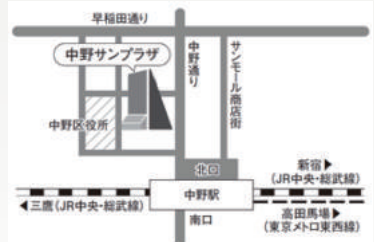
会場 中野サンプラザ14階

クレセントルーム 〒164-8512東京都中野区中野4-1-1
Tel:03-3388-1166

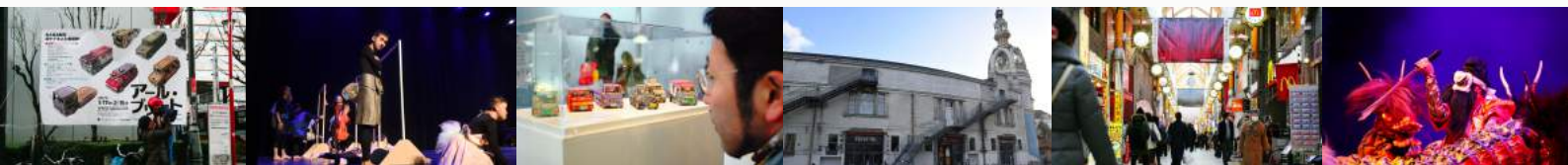
入場 無料※要予約
予約方法は裏面を
ご確認ください

【主催】文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会、社会福祉法人愛成会
【協力】中野区商店街連合会、中野ブロードウェイ商店街振興組合、
中野サンモール商店街振興組合、中野南口駅前商店街、野方商店街振興組合、
中野レンガ坂商店会、これからの中野のまちづくりを考える会、中野北口一番街商店会
【後援】東京都(申請中)、明治大学

【アクセス】



JRまたは東京メトロ東西線「中野」駅北口から徒歩2分





瑞宝太鼓



レ・マシーン・ドリル



オープニングレセプション



湖南ダンスワークショップ

フランス・ナント —文化芸術で都市を再生—

フランス北西部に位置するナント市は、かつては国内最大の造船業の街として繁栄しましたが、70年代以降は産業が衰退し都市全体が輝きを失ってしまいました。しかし、いまではフランス国民が選ぶ「最も住みやすい街」の上位に選ばれるなど、人々から愛される魅力的な街となっています。以前の輝きを文化によって取り戻すことを公約に1989年に市長となったのが、「2017ジャパン×ナント プロジェクト」のスーパーバイザーを務めたジャン・マルク・エロー氏です。フランス最大級のクラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ」の開催や、ビスケット工場を文化施設「リュウ・ユニック」にリノベーションするなど、いくつものプロジェクトを次々に実施し、ナント市は世界有数の文化芸術創造都市として注目されています。

ナントからナカノへ —文化芸術が創るまちの未来—

本講演会では、ジャン・マルク・エロー氏の大規模な都市再生により世界的な文化芸術創造都市となったフランス・ナントと、商店街を中心に約10年間にわたり障害のある方の創作活動支援や人々の日常に芸術を取り入れる活動を実施している東京・中野を事例として、文化と芸術によるまちづくりのあり方を考察します。エロー氏には、障害のある人の文化芸術国際交流事業として日本の多種多様な文化を世界に発信した「2017ジャパン×ナント プロジェクト」がナント市民に与えたインパクトや成果をご紹介いただくとともに、パリ東京文化タンドム2018の一環として9月8日から開催している「アール・ブリュット ジャポネII」展についてもお話しいたします。また、青柳正規氏との対談により2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、世界へ発信する日本のアール・ブリュットの可能性を探ります。



青柳正規(あおやぎまさのり)

1944年生まれ。古代ギリシャ・ローマ美術史研究の第一人者として、30年以上にわたり、地中海各地の遺跡を発掘調査。1967年東京大学文学部卒業後、ローマ大学に留学。古代ローマ美術史、考古学を学ぶ。東京大学副学長、国立西洋美術館館長を経て、2013年7月～2016年3月文化庁長官を務める。2017年から山梨県立美術館館長を務める。東京大学名誉教授。日本学士院会員。



ジャン・マルク・エロー

1950年フランス、モレヴリエ(メヌ・エ・ロワール県)生まれ。若年39歳で、文化芸術、公共交通、都市緑化を公約に掲げ、ナント市長に初当選。23年間の市長在任中、文化事業を核とした都市再生に取り組んだ。市民は街への誇りを取り戻し、フランス国内で住みたい街の上位に選ばれる都市となり人口増加を続けている。「2017ジャパン×ナントプロジェクト」では、スーパーバイザーとして、プロジェクトを成功へと導く。



野澤和弘(のざわ かずひろ)

1983年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局(名古屋)、東京社会部、夕刊編集部長を経て現職。社会部でいじめ、ひきこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などを担当。主な著書に「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」(ぶどう社)、「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「廃墟の中の希望」「なぜ人は虐待するのか」(Sプランニング)、「わかりやすさの本質」(NHK出版)



パリ東京文化タンドム2018 「アール・ブリュット ジャポネII」展

姉妹都市提携を結んでいるパリ市と東京都の事業である「パリ東京文化タンドム2018」の一環として、パリ市において開催されている日本のアール・ブリュット展です。障害の有無を超えた、幅広い分野から集められた作家52名による作品が展示されています。

【会期】 2018年9月8日(土)～2019年3月10日(日)

【会場】 HALLE SAINT PIERRE
(パリ市立アール・サン・ピエール美術館)

【主催】 東京都、パリ市立アール・サン・ピエール美術館、社会福祉法人愛成会

ご予約・お問い合わせ

電話、Fax、Eメールにて『「ナカノからナントへ」に参加希望』と明記の上、下記の事項をご連絡ください。

- ①氏名
- ②ご職業またはご所属
- ③連絡先(電話番号、Fax番号、メールアドレス)

Tel 03-5942-7259
Fax 03-3387-0820
Email kikaku@aisei.or.jp

社会福祉法人愛成会 法人企画事業部
〒164-0001 東京都中野区中野5-26-18

東京・中野 —文化芸術が浸透するまち—

中野区は東京都の西部に位置し、新宿駅からJR中央線で4分の中野駅をはじめ区内に15の駅があり、住むにも訪れるにも便利なところ。中野駅前には、サブカルチャーの聖地としても有名な中野ブロードウェイを中心に個性豊かなお店が連なる商店街がいくつも存在し、国内外の多くの人を惹きつけています。また、商店街が協働して、まち全体を美術館の一つと捉えた国内最大規模のアール・ブリュット展を約10年間にわたり開催し、フォーラムや映画上映、パフォーマンスイベントなどを含め、年々規模を拡大しながら文化芸術が浸透するまちづくりにも力を入れています。

2017 NAKANO 街中まるごと美術館!



中野ブロードウェイ商店街



中野サンプラザロビー展示



中野サンモール商店街



中野南口駅前商店街